

岡山医療センターでは、下記の臨床研究に対して「●対象となる患者さん」に該当する方へ研究へのご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対する肺高血圧症治療薬がカテーテル治療成績及び予後に与える影響についての検討

[研究責任者]

循環器内科 松原広己

[研究の背景]

慢性血栓塞栓性肺高血圧症は肺動脈内の慢性血栓により肺動脈圧の上昇をきたす予後不良の難治性疾患です。手術による血栓摘除が難しい場合には、カテーテルによる治療あるいは薬物治療が行われますが、カテーテル治療と薬物療法の両方を行った方が良いのか、薬物療法をカテーテル治療の前に行っておいた方が安全にカテーテル治療が行えるのかどうかといった点については、明らかになっていません。

[研究の目的]

この研究では、岡山医療センターで診療されている慢性血栓塞栓性肺高血圧症の患者さんを対象として、診療の一環として行われた検査結果から、バルーン肺動脈拡張術の際に薬物療法を行う事が、カテーテル治療を安全に行い、患者さんのその後の生命予後の改善につながるかどうかを解明することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

慢性血栓塞栓性肺高血圧症の患者さんで、西暦 2014 年 5 月 1 日から西暦 2022 年 12 月 31 日の間に肺動脈バルーン拡張術による治療を受けた方

●研究期間

倫理委員会承認後から西暦 2025 年 12 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、6分間歩行距離、心エコー検査、心臓 MRI 検査、CT 検査、カテーテル検査）、治療の概要。

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は、研究費は用いず実施されます。しかしこの研究における当院の研究者の利益相反*については、当院の研究利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。

*外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

循環器内科 松原 広己

電話 086-294-9911 内線 8003 FAX 052-294-9255